第45回

キジカケル突撃レポート！

～鹿児島純心大学に潜入！編～

本市唯一の大学である「鹿児島純心大学」。今年度から男女共学になりました。

そこで今回は、鹿児島純心大学に潜入取材をしてきました。大学生の様子、地域とのかかわりなど魅力をご紹介します。

新しいスタート

市の誘致を受け、平成6年に設立された鹿児島純心女子大学。

今年の4月から男女共学となり、鹿児島純心大学に名称変更しました。今年は15人の男子学生が入学したそうです。

「純心」の意味

「学園を聖母の汚れなきみ心に奉献し、聖母のように、神様にも人にも喜んでいただける女性を育てたいと考えて、聖母の汚れなきみ心、すなわち『純心』という名の学園を創立しました」と、学園の創立者江角ヤス先生は、純心という名前について述べています。

「大学といえば、専門的な知識を身に付けるところ」というイメージがありますが、鹿児島純心大学では特に、人を想う人間性を育てることを大切にしているそう。確かに、潜入取材をしている際、すれ違う多くの学生が挨拶してくれたり、売店の営業時間が分からず困っていたら、声を掛けてくれたり、快く取材に応じてくれるなど、人の温かさを感じました。

毎日が楽しい！

今回は、学生会長を務める久保美紀さん（健康栄養学科3年）にお話を聞くことができました。

もともと料理をするのが好きで、中学生の頃、職場体験で幼稚園に行ったとき、子どもたちがおいしそうに給食を食べている姿を見て、「子どもたちのために給食をつくりたい！」と思ったそう。そのためには、管理栄養士の資格が必要だったので、調べてみると、近くの鹿児島純心女子大学で学べることを知り、受験しようと決めたそうです。「実際に入学してみると、先生たちがいつも丁寧で優しく、大学のことだけでなくプライベートなことまで相談できる環境なので、入学して良かったと思います」と話します。

学生生活について尋ねると「毎日が楽しい！」と笑顔で答えてくれました。

「今日は午後空いているから、市内のカフェ巡りするが！」と、友達と出掛けたり、調理実習で、仲間と試行錯誤したりと、限られた時間の中で人と関わることを楽しんでいるようです。

「人と話すことも料理をすることも好きだから、食を通して内面からも外からも人を幸せにできる人でありたい」と話してくれました。

大学生を直撃！

学内を回っていると、授業の空き時間に勉強をしている学生が…そっと声を掛け、インタビューしてみました。

インタビューに答えてくれたのは、健康栄養学科に通う3年生のお2人。

Q．学生生活で楽しいことは？

○調理実習です。特に、給食を100食作る実習が好きです。選択食やアレルギー対応食など、いろいろな種類があって、学科のみんなと一生懸命考える時間がすごく充実しています。

▲七夕にちなんだ選択食
※写真は令和2年のもの

※選択食とは、学生が決めたテーマに沿って考案・調理した2種類の献立を食べる人に選んでもらうこと。

Q．学内の好きな場所は？

○学食です。特に、カレーうどんがおすすめなので、ぜひ！

○チャペルが好きです。そこにいるだけで落ち着きます。

▲チャペルの外観と内観
学生が心を休めるために訪れることもあるみたい。

2人とも、管理栄養士の資格を取るために、鹿児島市から通学しているそうです。しっかり将来を考えながら毎日を過ごしています。

2人へのインタビュー後、まだ初々しさが残る新入生を発見。ぜひ新入生の声を！と思い、声を掛けると、教育・心理学科の学生が快くインタビューを受けてくれました。

▲楽しそうに話す新入生たち

Q．なぜ鹿児島純心大学に決めたの？

○公認心理士の資格を取れる学科があるからです。

○実家から近くて、教育に力を入れている大学なので。

Q．実際に入学してみてどう？

○正直まだ雰囲気に慣れないけどこれから慣れていけたらと思います。

○男子校出身だったけど、意外と伸び伸びできています。どんな環境でも順応できるのかもと思いました。

○もっと男子学生が来てくれたら嬉しいです。

入学したばかりで、戸惑いながらも元気いっぱいに答えてくれました。

地域とのかかわり

鹿児島純心大学では、地元イベントへの学生参加、地域産業界との共同研究などを通じ、地域との交流を深めているそうです。その一部をご紹介します。

○純大Radio Campus（らじおきゃんぱす）

コミュニティ放送局「FMさつませんだい」において、3学科の先生がリレー出演する番組を放送しています。教職員の専門分野を知り、身近に感じてもらいたいとのことで毎月放送をしているのだとか。

放送は、第3金曜日18時40分～、第3土曜日18時45分～です。（第3土曜日は再放送）

コミュニティFM向け配信アプリ「FM++（エフエムプラプラ）」でも放送を聞くことができます。

▲FM++ダウンロード先

○地元の特産品を使ったスイーツ共同開発

本市地域おこし協力隊×市内の洋菓子店×鹿児島純心女子大学生で市の特産であるキンカンと県の特産であるお茶を使ったフィナンシェ「しっとりきんかん～んな」「しっとり茶～みんぐ」を開発したこともあるんだそう。

▲打ち合わせの様子

この他にもさまざまな形で地域とのつながりを大切にしています。実際に参加した学生からは「地域の方に喜んでもらえて嬉しかった」「地域の方とかかわることで、より薩摩川内市のことを知ることができた」などの声があり、充実した時間になっているようです。

実は気軽に立ち寄れます

大学は近くにあるけれど、入ったことがない。そんな方が多いのではないでしょうか。実は、学生か否か関係なく、気軽に立ち寄れる場所があるのです。

○学食

令和4年にオープンした学食Campus kitchen（キャンパスキッチン）Koco（コこ）。日替わりランチのメニューはその日のお楽しみで、カレーライスは鹿児島純心大学だけのためにブレンドされた特製カレーなのだそう。学食は通常、（月）～（金）の11時30分～13時30分で営業しています。**一般開放**しているので、学生や教職員でなくても食べることができます。

▲日替わりランチ
（取材の日はチキン南蛮）

▲野菜カレーライス

遠いようで近いんです

これまで「身近にあれど、よく知らなかった」と感じている方もいらっしゃるのではないでしょうか。

今回の潜入取材で、一般開放している学食や地域とのかかわりなど、地域に根差した大学であることを知ることができました。また、取材中に感じた学生の思いやりや積極性はまさに、「人を想う、人と輝く。」姿でした。

次のページ「人のとなりに」では、学長の思いをご紹介します。

皆さんが知りたいことや紹介したいことなどがありましたら、情報をお寄せください。

問合先／本庁秘書広報課
企画総務・広聴広報G（内線4122）